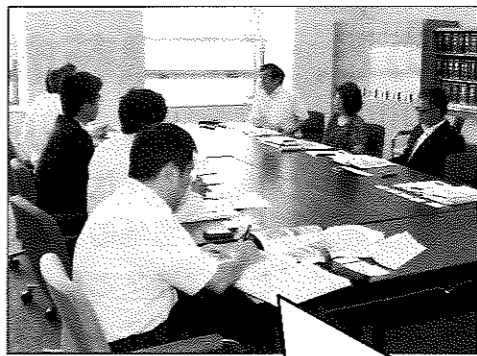


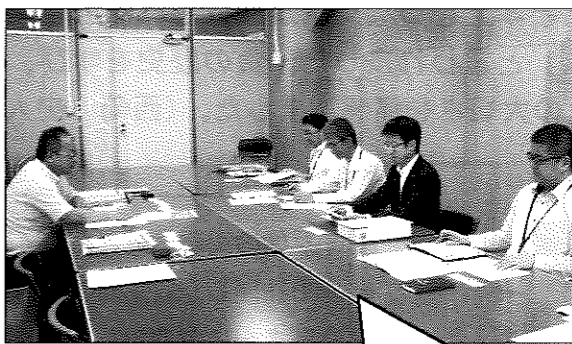
安易な「週休2日制」導入は疑問！ 日給月給が大半の建設労働者は収入減招く恐れ

第26回ダンピックキャラバンが終わりました。ダンピック労働者の待遇改善を訴える長年の組合運動に加えて、建設労働者の担い手不足も重なって、国は労働条件や労働環境の改善に前向きな政策を推進するようになっています。しかし、建設労働者の実態に合った政策を打ち出さなければ、逆効果にもなりかねません。(中本 誠治)



石川県庁の担当者と交渉する
久保浩美書記長(右から2人目)

国が推進する建設現場での「週休2日制導入」では、公共工事に限らず、日建連も「3年後をめどに大型民間工事でも実施する」と断言しています。しかし、現場で働く労働者は日給月給がほとんどです。土曜日が休日になれば、年間50日程度の労働日数が減り、賃金も削減される恐れがあります。

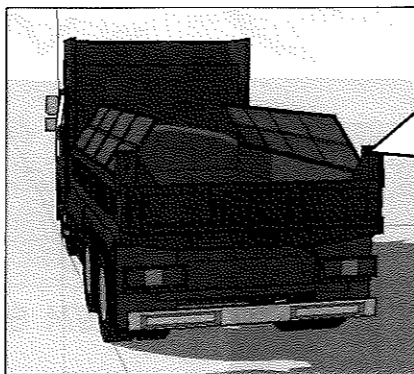


岐阜県庁の担当者と交渉する
中本誠治書記次長(左)

休みが多くなっても、賃金が低い産業に若者たちは魅力を感じてくれるでしょうか？設計労務単価を引き上げてい

ても、末端の建設労働者には支払われていないのが実情です。この問題が改善されないうまま、安易な「週休2日制」導入は、担い手不足に拍車をかけるばかりです。

実態と異なる積算は過積載や低単価の原因に！



10tダンプといっても、最近のダンプは自重が増えて、実際に積載できるのは8~9tが大半。9~10tで積算されれば、過積載や低単価の原因に...

1万立米の土砂運搬、工事額1250万円のケースで、1台のダンプが9.5tの土砂を積んで1日6回運搬し、常用単価4万円として積算すると... ※1立米=1.7t

【予算を立てる際の積算】約5.6立米(9.5t)×6回=33.5立米(1台のダンプが1日に運搬できる土砂)となります。1万立米÷33.5立米=299台(必要なダンプの延べ台数)で、単価4万円×299台=1196万円(予算内で工事が可能)。

【実際に運搬できる土砂から積算すると...】しかし、実際に積載できるのは5立米(8.5t)ほどなので、ダンプ1台が1日に運搬できる土砂は30立米です。1万立米÷30立米=334台(実際に必要なダンプ延べ台数)で、単価4万円×334台=1336万円(86万円の予算オーバー)。

下請業者は、予算内で工事をしたい意向が働くので、過積載でダンプ台数を減らすか、常用単価を引き下げようとしています。

韓国ソウル市がこの10年推進してきた建設産業政策が成果を上げています。こうした事例も参考にしながら、政策を推進してもらいたいものです。

他支部のダンプ仲間が運転中に急性心筋梗塞で死亡 突然死と事故を防ぐため、日頃の健康管理を大切に

7月1日、他支部の建交労働組合員Iさん(72)がダンプを運転中、急性心筋梗塞を発症して亡くなりました。Iさんはいつものように、深夜2時30分頃自宅を出発し、2回目の碎石運搬の途中に発症しました。走り慣れた道でしたが、運転席で意識を失い、ゆっ

くりと対向車線に進入し、歩道に乗り上げた状態で停止しました。交通量の多い道路でしたが、対向車はいませんでした。

Iさんは病気で入院したこともなく、丈夫な人でしたが、血圧が高く定期的に血液検査を受け

ていました。最近、特に変わった様子はなかったといいますが、仕事に忙しく、長年、健康診断は受けていませんでした。

高血圧や糖尿病などの持病で通院していると、健康診断を受けていると誤解している人がいます。しかし、特定の病気の通院では、その病気の検査や治療しか行いません。

健康診断は、血液検査だけでなく、心電図、レントゲン検査など身体全体をチェックします。心臓病は日本人の三大死因の一つですが、定期的な心電図検査で予防

することも可能です。

また、昼間に急な眠気に襲われることがある人は、睡眠時無呼吸症候群(SAS)の可能性があります。いきのひどい人に多いと言われています。自覚のある人は、SAS検査を受けるようにしましょう。

決して、他人事と考えず、毎年健康診断を受け、日頃から、健康管理を徹底しましょう。

夏の思い出 募集！

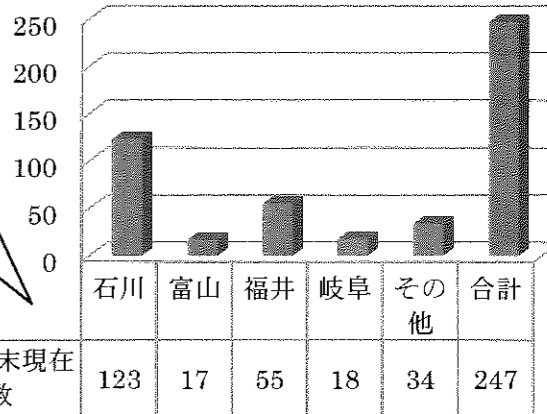
組合員の皆さん、今年の夏は思いっきり楽しむことができましたか？家族旅行や趣味、イベントなど、組合ニュースで紹介する夏の楽しい思い出を募集します。

スマホなどで撮った写真に、お名前、簡単なコメントや日時、場所などを付けて、9月20日(金)までに、下記のメールアドレスまで送ってください。皆さんの投稿をお待ちしています！

hokuriku-d@forest.ocn.ne.jp

7月は2人純増の247人！

7月は金沢分会で4人の加入がありましたが、加南分会と嶺北分会で各1人の退会がありました。前月比で2人純増となりました。250人突破までもうひと息です！



令和元年7月末現在
組合員数

ダンピック！ 土木建設 の仲間

一人はみんなのために みんなは一人のために

全労連・全日本建設交通一般労働組合

石川県本部 北陸ダンプ支部

金沢市木越町七七二

TEL (076) 257-4885

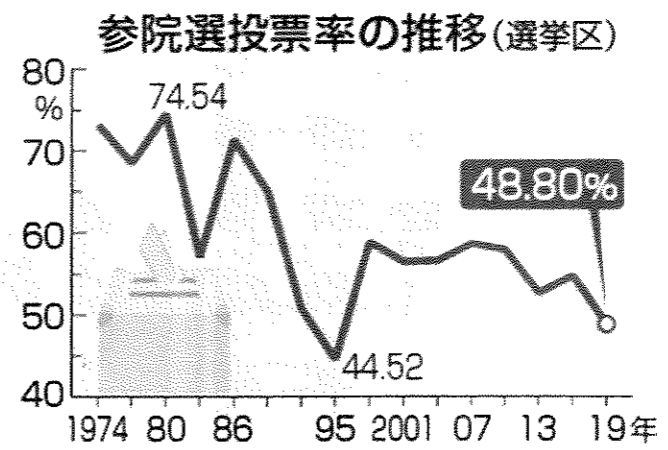
FAX (076) 257-4886

(No.285 2019.8.25発行)

有権者2割の意見しか、政治に反映せず!

参院選投票率、戦後2番目の低さ48.8%

先月21日に実施された参議院選挙では、投票率が50%を切りました。政権与党の自民党は、選挙区で改選数74のうち38議席、比例区で改選数50のうち18議席を獲得しました。自民党の有権者全体に対する絶対得票率は2割を切っていますが、議席は改選124のうち、56議席(議席占有率45.2%)を占めました。



今回の参院選の有権者数は1億588万人でした。自民党の比例区での得票率は17.71万人で、絶対得票率は16.7%です。選挙区の絶対得票率はもう少し上がるかもしれませんが、いずれにしても2割に届いていません。それでいて、今回の選挙での自民党の議席占有率は45.2%と絶対得票率の倍以上を占めています。消費税の増税も、改憲も、有権者の2割の支持に満たない自民党が「国民の皆さまからの力強い信任をいただいた」と強弁して、

推し進めようとしているのです。参議院は、1人区が多く死票が多い選挙区と民意が反映されやすい比例区を組み合わせた選挙制度です。ですが、これだけ投票率が低いと、選挙制度に関係なく、少数の得票で議席を占めてしまうことになってしまいます。低投票率の原因は、政党や政治家に責任があるのか、無関心の国民に問題があるのか、よくわかりませんが、少なくとも国政選挙の投票率は60〜70%あたりで推移すべきではないでしょうか。投票率が50%を切るような国政選挙は、無効にしてしまうくらいの荒療治が必要な時期なのかもしれません。

いま、国会では戦後生まれの国会議員が圧倒的多数になっています。戦前・戦中生まれは、全体の4%程度です。かつて、多くの政治家は、思想信条や保革を問わず「戦争

今年も夫婦元気だったので、山口県萩市・秋芳洞方面へ



お薦めは、コバルトブルーの海の上、角島(つのじま)に架かる長い橋です。

天気にも恵まれ、暑さのなか、美しすぎる自然に目を癒やし、昔の人々に思いをはせ、日常から脱出してきました。ご当地の美味しい食べ物には、ちょっとだけ、どんな味?と自己規制をゆるめ、見事に肉増幅して帰ってきました。萩市は歴史を感じる明治維新胎動の地、秋芳洞はスケールがけた違いに大きい洞窟でした。旅の最後に事件発生!「さあ、家路へ」と車を走らせ30分…「えっ~!財布がない!」

「どこに忘れたんや!」「さっきのお土産物屋さん」「なんでそんな大事なもん忘れるんや!」さんざん主人に怒られ、昔の失敗も引きずり出され、楽しかった気分が一気に崩れ落ちていく音が…。結局、財布は無事に手元に戻ってきましたが、とんでもないドジで締めた旅行になりました。(久保 浩美)

夏の思い出



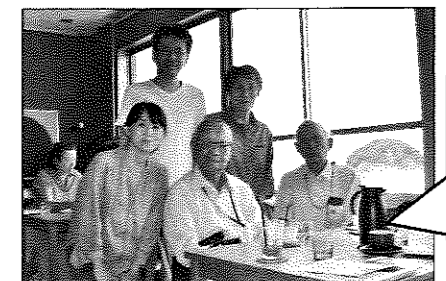
カープのエース、大瀬良投手のユニフォームを着て応援!この日も大瀬良投手が先発でした!

4連覇の夢は厳しくなっても…

数年前、奥さんと一緒に行った2試合は負け試合。今回は3度目の正直と意気込み、阪神対広島戦を観に京セラドームに乗り込みました!ところが、いきなり阪神に4点先制され、今日も負けか…。と意気消沈したのもつかの間、すぐに5点を取り返し逆転!終盤も追加点を挙げ、カープが快勝したのでした!レフトスタンド応援席で、知らないカープファンと一緒に大盛り上がりでした(歓喜)。普段は野球に関心のない奥さんも大満足でした。でも、その後、カープは失速し、4連覇の夢は遠のいていくのでした…(涙)。(西崎 史人)

岡山にあるハンセン病療養所の長島愛生園を訪問しました!

ハンセン病患者は長い間、国の政策で療養所に強制隔離され、厳しい差別に苦しめられてきました。30年前、愛生園がある長島と本土をつなぐ橋が架けられたときには「人間回復の橋」と言われました。負の歴史を学び、継承していくことの大切さを痛感しました。(西崎 史人)



僕の両親、奥さんの4人で訪問し、愛生園の自治会長さんにお会いして話を伺いました。

交通安全推進団体の証 オレンジプレート掲げて仕事をしよう



オレンジプレートが労災保険加入者の証明になっています。仕事には必ず掲示しましょう。

は絶対にだめ」という一点においては一致していたように思います▼ところが、戦後生まれが圧倒的多数の現在の国会はそうではないようです。東大を卒業し、官僚を経て国会議員になったエリートの丸山穂高議員が「戦争で北方領土を取り戻すのは賛成ですか、反対ですか」と元島民に暴言を吐いたのは家徹的な出来事でした。すべての戦後生まれの議員がそうだとは言いませんが、戦争を知らないエリート政治家が、テレビゲームでもするかのようにならざるを得ないかと思うと、空恐ろしくなります▼今年5月に平成から令和に改元され、天皇も代替わりしました。退位した明仁上皇は、終戦時に11歳でした。天皇在位中には、沖縄やサイパンなど過去の戦争にゆかりのある地を訪問し、慰霊してきました。そしてアジア諸国に対しても、日本が戦争で苦しみを与えたことに痛惜の念を表明してきました。平成という時代に戦争体験をした天皇という存在がいて、過去の戦争と真摯に向き合う姿を国民に見せてきたことは、非常に大きな意味があったように思います▼そして、5月に戦争を知らない世代の天皇が誕生しました。新しい天皇は終戦の日「深い反省の上に立って、再び戦争の惨禍が繰り返されぬことを願う」と語りました。多くのメディアは上皇の思いを引き継ぐものだったと報道していますが、その言葉や行動に上皇と同じ重みを持つかは未知数です。それでも、個人的には、戦争というテーマに正面から向き合い続け、右傾化する政権に警鐘を鳴らし続ける天皇であってほしいなと願っています▼令和という時代は、戦争を知らない世代が、どのように過去の戦争に向き合っていくのかが問われる時代と言えるかもしれません。